

事務事業評価資料

施策名	美しいむらづくり			所管部局課名	農政環境部農政企画局総合農政課					
事業名	農村ボランティア活動支援事業			担当者電話番号	集落活性化係 内線3954					
事業目的	農村ボランティア活用による中山間地域の集落維持保全									
事業内容	農村ボランティア活動への支援 農村ボランティア事務局の設置 ボランティア募集 ふるさとむら及びボランティアの研修会開催 情報発信 事業主体 県〔(社)兵庫みどり公社へ委託〕				事業開始年度	平成9年度				
事業に要するコスト	区分	平成20年度決算額		平成21年度当初予算額		平成22年度当初予算額				
	事業費	(0千円) 6,562千円		(0千円) 6,365千円		(0千円) 5,846千円				
	人件費	4,236千円	従事人員 0.5人	4,180千円	従事人員 0.5人	4,102千円	従事人員 0.5人			
	総コスト(+)	10,798千円	従事人員 0.5人	10,545千円	従事人員 0.5人	9,948千円	従事人員 0.5人			
事業の目標	農村ボランティア登録数 6,000人(H27)				[目標設定理由] 過疎の進む中山間地域において農村の集落機能を維持するにはボランティアの力が必要であるため					
目標の達成度を示す指標	指標名	目 標		20年度実績	21年度見込み	22年度目標	達成率(%)			
		目標値	年度				H20	H21	H22	
	農村ボランティア登録数	6,000人	H27	2,172人 5千円	2,572人 4千円	2,972人 3千円	36.2%	42.9%	49.5%	
評価結果	必要性	・中山間地域の農村では、高齢化や人口減少が進行しており、農地や水路・農道など農村の維持保全が困難になりつつあることから、都市住民を受け入れて農村集落住民とともに農村を守るボランティア活動が必要である。								
	有効性	・農村ボランティア数については、平成20年度に142人が新たに登録し、着実に増加している。受け入れ集落では、活発に農業振興や保全活動が展開されており、集落の維持保全が図られている。								
	効率性	・多くの県民が農村ボランティア活動に取り組めるよう、募集説明会、インターネット等の活用により制度周知に努めているほか、申込み窓口を兵庫みどり公社に一本化するなど、効率的な運用を行っている。								
	民間・市町との役割分担	・農村ボランティア(活動する都市住民)に対して、県は研修会の開催、情報発信等を行う一方、市町は受入集落の活動支援・助言を行うなど、県と市町が連携して、農村ボランティア活動への支援を行っている。								
	受益と負担の適正化	・ボランティアは、集落への交通費、食事代、保険代等、自己負担で活動している。 ・農村集落もボランティアへの連絡、作業指導、最寄駅までの送迎等、自己負担で受け入れている。								
実施方針	方向性	新規	拡充	継続	実施手法の見直し					
	実施手法の見直し内容	廃止	縮小	統合	凍結(休止)	延長	終期設定			
実施方針	説明	市町移譲 民間移譲 民間委託 PFI 負担割合変更 事務改善 その他								
	説明	中山間地域の農村では、今後、高齢化や人口減少がさらに進むことから、農地や水路・農道、集落コミュニティ機能を維持し、多面的機能を維持・発揮するためには、都市住民を受け入れて共に農村を保全する「農村ボランティア活動」の継続が必要である。								